

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム  
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援  
2021 年度事後評価結果

|         |                          |
|---------|--------------------------|
| グラント番号  | JPMJST2158               |
| 研究開発課題名 | 液密重臨界制御機能を有する水熱反応技術の事業化  |
| 研究代表者   | 信州大学 学術研究院（工学系） 教授 天野 良彦 |

**総合評価**

事業戦略、特許戦略ともに十分練られており、既にユーザーとなる企業との協業を開始している。期待された課題に対して事業性を中心として取り組み的確に成果が挙げられており、今後の事業化が期待できる。プラントの資金調達が今後の課題となるが、VC との交渉にも着手しており、進展が期待できる。ただし、商用ミッドプラントに必要な資金が多額になると想定できるため、必ずしも SBIR 制度に限らず検討されたい。

実用化プラントを想定して、商用ミッドプラントを活用した事業収支計画を深掘りすることが今後重要である。また、事業化に向けて対象物の品質や顧客の意向調査など重要な局面にさしかかっている。

以上